

不登校や引きこもりなど、若者が直面する問題と支援策などについて考えるシンポジウム「安城市の若者支援の現状と今後を考える」が十六日午後一時半から、安城市桜町の市文化センターで開かれる。市青少年の家主催。

青少年の家では昨年六月から、中学卒業後のニートや引きこもりなどに悩む若者とその家族の支援として、四十歳までの相談業務を始めた。専門カウンセラーが話を聞き、現状や本人の希望を把握した上で、支援プログラムを作成し、解決に導く。

## 若者引きこもり 解決の糸口に

毎週水曜午後が相談日だが希望者や問い合わせが多く、八月以降から予約が取りづらい状況が続いているという。岡安雅彦所長は「解決の難しい事例が多く、なかなか本人が出てこられないという現状がある。家族が精神的に追い詰められているケースも多い」と話す。四月には若者支援地域協議会を設立し、関係機関の情報共有をさらに密

### 安城で16日 市の取り組み紹介

にしていく。市の取り組みを周知することで、さらなる支援の動きにつながればとシンポジウムを企画した。

愛知教育大の川北稔准教授が「子ども・若者の切れ目のない支援のために地域でできること」と題して基調講演。青少年の家職員の橋本美香子さん、相談業務を請け負っている育て上げネット中部虹の会の加藤早苗理事長が現状などを報告する。パネル討論などもある。入場無料。定員百五十人。事前申し込み不要。◎青少年の家〓0566(76)3432(四方さつき)